



地域を支え、世界に挑む：医療の未来を築く医療系総合大学



公立大学法人
和歌山県立医科大学
Wakayama Medical University

薬学部(6年制)
School of Pharmaceutical Sciences



華岡青洲画像（部分）（和歌山県立博物館蔵）

華岡青洲…和歌山県（当時、紀州藩）出身の医者。江戸時代、全身麻酔薬の発明とそれを使った世界初の乳がん手術に成功し、人々の命を救うことに生涯を捧げた。

医聖・華岡青洲の「医の心」をルーツにもつ

和歌山県立医科大学

医の英知を結集し、薬学部を開設

学長挨拶



学長 中尾 直之

和歌山県立医科大学は1945年に開学し、長く医学部医学科の単科大学でしたが、2004年に2番目の保健看護学部を開設し、そして、2021年4月に3番目の学部として薬学部を開設しました。近畿の公立大学では初めての薬学部を擁する大学となり、名実ともに医療系総合大学として挑戦と成長を続け、医療の発展に寄与し、社会貢献を果たす使命と責任を担っています。

薬学部では、医療系総合大学の特色を活かして、医学部、保健看護学部と連携したケア・マインド教育を通して医療人として必要な倫理観を涵養し、また多職種連携教育を進めることにより将来チーム医療の一翼を担える高いコミュニケーション能力を有する薬剤師を養成します。そして、3年次後半から研究室に一定期間配属され、研究マインドを育むことにより研究能力も兼ね備えた薬剤師（ファーマシスト・サイエンティスト）を目指します。

本学は「地域を支え、世界に挑む：医療の未来を築く医療系総合大学」という基本指針を掲げ、地域医療に貢献すると同時に、世界に挑戦すべく教育、研究、医療の最先端レベルの知見、情報をこの和歌山から世界に発信し続けています。皆さんも私たちとともに医療の新たな未来に向かってチャレンジしていただきたいと思います。

薬学部長挨拶



薬学部長 太田 茂

和歌山県の薬剤師数はほぼ全国平均であるものの、県内での地域偏在が課題となっています。また、高齢化が進む中、地域包括ケアシステムの担い手となる薬剤師の養成が急務です。

私達、和歌山県立医科大学薬学部は、こうした地域のニーズに応えつつ、学生の知的探究心・向上心にも応えうる質の高い教育プログラムを用意して、皆さんをお待ちしています。

薬学分野は基礎系から臨床系まで大変幅広いことが特徴です。幅広い学問分野を身につけて頂くため、講義、演習、実習などをバランスよく配置して効率良く履修できるように工夫しております。また医学部、保健看護学部とともに医療系総合大学の特長を十分に活かし多職種連携教育を進めてまいります。更に卒業研究や英語教育にも力を入れ、研究能力を兼ね備えた国際的に活躍できるファーマシスト・サイエンティスト（薬剤師科学者）の養成を目指しております。

和歌山県に近接している薬学部キャンパス（伏虎キャンパス）で私達と一緒に薬剤師（ファーマシスト・サイエンティスト）を目指してみませんか。

薬学部の教育理念

医療人として豊かな人間性、高邁な倫理観を育み、薬学に関する先進的で高度な専門知識と技能を教授することにより、健康や福祉に関する社会の要請に応じ、医療、衛生薬学、創薬などの幅広い分野において、研究面、臨床面で活躍できる人材を育成する。

薬学部の教育研究上の目的

和歌山県立医科大学薬学部は、学修者本位の教育を志向する教育課程を編成し、学生が自律的に高度な専門性と深い学識、高度な教養と豊かな人間性、多様な国際性・地域性に対応できる優れた汎用力を身につけることによって、人類の健康の維持・増進や福祉の向上に向けた医療、衛生薬学、創薬などの発展や薬学研究の推進に貢献できる人材を輩出する。

養成する人材像

- 高い実践能力を有する薬剤師
- 地域で活躍できる薬剤師
- 国際的に活躍できるファーマシスト・サイエンティスト（薬剤師科学者）



3つのポリシー（運営方針）

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針） 〔学生が卒業までに身に付ける資質・能力〕

和歌山県立医科大学薬学部は、学修者本位の教育により、教育研究上の目的に掲げた人類の健康の維持・増進や福祉の向上に向けた医療、衛生薬学、創薬などの発展に貢献できる人材の育成を目指す。

こういった人材を輩出するために、以下の資質・能力を身につけ、学部規程に定める期間に在学し、所定の単位を修得した学生に学士（薬学）の学位を授与する。

1. 高度な教養と豊かな人間性
 - (1) 薬学専門領域にとどまらない幅広い知識と高度な複眼的な視点で人の健康に係る社会現象を的確に把握・解析し、深く考察することができる。
 - (2) 豊かな人間性、人の健康に貢献する強い使命感、医療人としての高邁な倫理観に基づいて、医療、衛生薬学、創薬などの発展に貢献することができる。
2. 高度な専門性と深い学識
 - (1) 生命科学、創薬科学、社会・衛生薬学、医療・臨床薬学等の薬学専門領域の高度な知識と技能に根ざした人の健康や豊かな社会の発展に貢献できる深い学識を身につけている。
 - (2) 薬学専門領域の高度な知識と技能を統合した科学的思考により、医療、衛生薬学、創薬における課題を的確に見出し、その解決を図ることができる。
3. 優れた汎用力と研究能力
 - (1) 国際社会から地域社会にわたる人の健康に係る多様な課題に対応できる優れた汎用力を有している。
 - (2) 医療や保健衛生などの充実を通して、主導的な立場で地域医療の発展に貢献することができる。
 - (3) 高度な専門性と教養、優れた汎用力を発揮して、医療、衛生薬学、創薬などに係る国際的な薬学研究を遂行することができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針） 〔ディプロマ・ポリシーでの資質・能力を修得する教育カリキュラムの方針〕

和歌山県立医科大学薬学部は、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針、DP）に掲げた資質・能力を身につけるために、以下のように薬学教育プログラムにおける教育課程を編成し、実施する（カリキュラム・マップ参照）。

- (1) 全科目を L. 教養科目（語学を含む）、B. 社会と薬学、C. 基礎薬学、D. 医療薬学、E. 衛生薬学、F. 臨床薬学及び G. 薬学研究に分類し、DP の到達に向けた 6 年間の体系的なカリキュラムを構成する。
- (2) 上記の体系的なカリキュラムにおいて、DP1（DP1-1, DP1-2） DP2（DP2-1, DP2-2）及び DP3（DP3-1, DP3-2, DP3-3）への到達を目指す最終科目を F. 臨床薬学の「臨床薬学演習」（6 年次開講）と G. 薬学研究の「特別実習Ⅱ（卒業研究）」（5、6 年次開講）とし、当該 2 科目での学修に関するパフォーマンス評価により、それぞれの DP に掲げた資質・能力への到達度の総括的評価を行う。
- (3) L. 教養科目（語学を含む）は、B. 社会と薬学、C. 基礎薬学、D. 医療薬学、E. 衛生薬学、F. 臨床薬学及び G. 薬学研究を学修するために必要な教養を身につけるリベラル・アーツと位置づけ、1 年次に開講する。
- (4) B. 社会と薬学は、薬学人材、薬剤師に必要な人間性・社会性を育み、医療現場や地域社会における活動の基盤となる学修領域であり、各学年において C. 基礎薬学、D. 医療薬学、E. 衛生薬学、F. 臨床薬学及び G. 薬学研究の学修と並行して、体系的に科目を配している。
- (5) C. 基礎薬学は、D. 医療薬学、E. 衛生薬学、F. 臨床薬学及び G. 薬学研究の学修に向けた科学的基盤となる生命科学領域であり、1 年次から 3 年次前期までに体系的に科目を配している。
- (6) D. 医療薬学は、C. 基礎薬学で修得した薬学の科学的基盤に基づいて、E. 衛生薬学における保健衛生に係る課題の解決や、F. 臨床薬学における薬物治療の実践に向けて、化学物質の生物作用や疾患、その薬物療法に関する専門知識と技能を修得する学修領域であり、2 年次後期から 3 年次に体系的に科目を配している。
- (7) E. 衛生薬学は、C. 基礎薬学で修得した薬学の科学的基盤に基づいて、D. 医療薬学と並行して、社会・集団における身体的、精神的な健康の維持・増進を科学する学修領域であり、2 年次後期から 3 年次に体系的に科目を配している。
- (8) F. 臨床薬学は、B. 社会と薬学、C. 基礎薬学、D. 医療薬学、E. 衛生薬学で修得した専門知識と技能を生かして、薬物治療の個別最適化に向けた統合とその医療現場での実践を図る学修領域である。本領域の科目は、1 年次の早期体験学習・社会薬学系科目から、4 年次後期の実務実習事前学習、5 年次の薬局・病院実務実習、6 年次の実習後の臨床薬学科目まで体系的に配している。
- (9) G. 薬学研究は、B. 社会と薬学、C. 基礎薬学、D. 医療薬学、E. 衛生薬学で修得した専門知識と技能を生かして、一部 F. 臨床薬学の学修と並行して、薬学的課題を科学的に探究する研究能力の養成と研究の実践を進める学修領域である。3 年次後期から 6 年次に配した特別実習Ⅰ及び特別実習Ⅱからなる。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針） 〔入学して欲しい人物像〕

和歌山県立医科大学薬学部では大学の理念に基づき次のような人を求めています。

【求める人物像】

- (1) 科学的探求心と豊かな人間性・高邁な倫理観を希求する人
薬学を志す人には、旺盛な科学的探求心とともに豊かな人間性、高い倫理観が必要です。豊かな感性と高邁な人間性を常に求め、社会と深く関わり、高い倫理観を磨こうと努める人を求めます。
- (2) 薬学を修得するための幅広い能力を有する人
薬学の修得には、自然科学のほか人文・社会科学に関する学問の修得も必要です。そのためには高等学校で学習する全科目にわたって基礎的な学力を身につけていなければいけません。それに立脚し、自然・人間・社会に関する幅広い理解と知識を獲得しようとする向学心と問題解決能力を持つ人を求めます。
- (3) コミュニケーション能力と指導力を備えた協調性の高い人
薬剤師には医療チームの一員として患者および家族と十分にコミュニケーションできる能力が必要です。医療人として自己研鑽ができ、自己の理念を堅持するとともに協調性に優れ、指導力を発揮できる人を求めます。
- (4) 地域医療に関心があり、国際的視野を希求する人
本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医療人を育成します。地域医療への奉仕に励むとともに地球規模で医療を俯瞰し国際社会で活躍する医療人になることを目指す人を求めます。また薬のスペシャリストとして医療機関、製薬企業、研究・教育機関、行政機関など幅広い分野で活躍する意欲のある人を求めます。

【入学者選抜の基本方針】

○ 学校推薦型選抜

大学入学共通テスト、高等学校長の推薦書、調査書、自己推薦書及び面接試験を課し、本学薬学部のディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、入学者に求める能力・資質やその評価方法を「学力の3要素」と関連付け、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

○ 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テスト、個別学力検査及び面接試験を課し、本学薬学部のディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、入学者に求める能力・資質やその評価方法を「学力の3要素」と関連付け、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

教育カリキュラムの特長

1. 医学部、保健看護学部との合同講義「ケア・マインド教育」や「薬学入門」「医療倫理」「臨床コミュニケーション」等により医療人、薬剤師として必要な豊かな人間性・高い倫理観を養います。
2. 医療現場で活躍できる薬剤師になれるよう大学と直結した和歌山県の基幹病院である附属病院や地域の中核病院、保険薬局を中心に参加体験型の「病院・薬局実習」を実施します。
3. 「社会薬学」「地域医療薬学」等の講義を設けることにより、地域社会の中で、患者・生活者における健康の回復と維持に積極的に貢献できる薬剤師を養成します。
4. 国際的に活躍できる薬剤師として、基礎的な「教養英語」や実践的な「薬学英語」を通じて、4技能（読む・聞く・話す・書く）を強化する英語教育を行います。
5. 学生全員は3年次6月上旬から卒業まで研究室に所属します。研究室では科学的根拠を有し、研究成果を国際的に発信できるファーマシスト・サイエンティスト（薬剤師科学者）を養成します。

附属病院



医学部



医療系総合大学の強みを活かし、
医・保健看護・病院・薬が融合した
国際水準の教育研究を実践

保健看護学部



薬学部

入学定員 100名
修業年限 6年
収容定員 600名
授与学位 学士（薬学）

次世代医療研究センター

次世代医療研究センターは薬学部の設置を機に医学部や附属病院と同じ紀三井寺キャンパス内に建設されました。

薬学部では、次世代医療研究センターを拠点に、医学部や保健看護学部、附属病院だけでなく、産官学連携を通じて創薬・臨床研究の活性化を図ります。



教育カリキュラム

医療、保健、福祉等の社会的ニーズに貢献する薬剤師として必要な知識・技能・態度・問題解決能力を修得できるカリキュラムを提供することで薬剤師に必要な基本的資質を修得します。

高い実践能力・地域で活躍できる能力を育成

多職種協働……ケア・マインド教育(3学部合同講義)、早期体験学習
臨床実践能力……4～6年次の臨床系科目(例:臨床感染制御学、臨床医学)
地域貢献……地域医療薬学、社会薬学

国際的に活躍できる能力を育成

英語力……1～3年次の教養英語、薬学英語
研究力……3年次6月上旬から全員が研究室に配属

修得すべき資質	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
倫理観 共感的態度 ケア・マインド	薬学入門 ケア・マインド教育 早期体験学習		医療倫理	臨床 コミュニケーション 事前学習	病院・薬局 実習	病院・薬局 薬学
教養	教養科目					
薬学教育モデル・ コアカリキュラム 準拠	化学系科目(例:天然物化学・生薬学)、物理系科目(例:機器分析化学) 生物系科目(例:分子生物学)、医療系科目(例:がん・化学療法学)			臨床系科目 (例:医療安全学)	病院・薬局 実習	臨床系科目 (例:臨床薬学演習)
臨床実践能力						薬学特別 演習
地域・世界で 活躍する資質	教養英語	地域医療薬学、社会薬学 薬学英語				
研究・問題 解決能力	全基礎系科目 ケア・マインド教育		薬学入門 Ⅳ	特別実習(卒業研究)	特別実習(卒業研究)	

薬学共用試験

薬剤師国家試験

薬剤師国家試験

特色ある科目

ケア・マインド教育 (1年次)

医学部・保健看護学部との合同講義

医学部、保健看護学部の学生とともに高い使命感、倫理観を備えた医療人へ

医療人を志すものとして、知識・技能の習得のみならず、病める人の視点で考えられる人間形成を目指します。講義では、患者それぞれで疾患の受け取り方や接し方に違いがあること、また、患者の家族に対する支援の方法等、常に患者の視点を通して医療人としての高い倫理観、良識を習得します。

医学部や保健看護学部の学生とのグループワークにより、他職種間の相互理解を深め、チーム医療の一員として協調的に職務を遂行できる薬剤師の養成を目指します。

地域医療薬学 (2年次)

地域の「かかりつけ薬剤師」として医療機関及び多職種連携のコーディネーターを目指す

地域における疾病予防、健康維持増進、セルフメディケーションにおいて薬剤師が果たすべき役割や、セルフメディケーションに用いる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用について習得します。また、健康教室等での健康の保持・促進における意義について地域住民へ説明できる技能を習得します。

高齢化社会の進展により地域包括ケアシステムの構築が急務となる中で、薬剤師の地域医療への貢献も今まで以上に求められています。本科目は、薬剤師が地域医療の維持発展にどのような貢献ができるのか考える契機となります。

特色ある科目

災害・救急薬学（3 年次）

緊急災害時の薬剤師はどうあるべきか、防災・減災への対応力を習得

災害時に地域住民として、また薬剤師として自らを助け、他者を助けるため、災害時における薬剤師の活動を過去の事例や実際に現場で対応した薬剤師の説明を通じて、来るべき災害に薬剤師として何が必要なのか、いざという時に的確に動ける資質・能力を養います。

また、被災時に自らの安全を確保し、地域住民の生命を守るために薬剤師として必要な実践的な訓練も実施する予定です。

がん・化学療法学（3 年次）

薬剤師としての実務経験のある教員（実務家教員）が高度化するがんの病態及び薬物治療を解説

日本人の主な死因である「がん」に対する薬剤師の果たすべき薬物治療を学びます。

がんの発生メカニズムから病態、使用される腫瘍マーカー、抗がん薬、標準的化学療法及び関連する臨床検査値、副作用を軽減する薬物療法の基礎知識を習得します。特に、標準的治療法に関してはがん患者の病態を考え、適切ながん治療の知識を習得します。

がん治療における最先端の知見も合わせて習得し、高度化するがんの薬物治療が実践できる薬剤師の養成を目指します。

事前学習（4 年次）、病院・薬局実習（5 年次）

高度先進医療を提供する附属病院を中心に、患者個々の症例や事例を体験

薬学共用試験に向け、実務経験豊富な教員による指導の下、調剤技術や情報提供手法を初歩から学び、実務実習に備え、臨床現場での基本的技能を身に着けます。

薬局、病院において実務実習を原則 11 週ずつ行い、薬剤師の活動の基礎となる調剤技術、患者応対におけるコミュニケーションスキル及び態度を習得します。

医療機関に勤務する薬剤師の役割や、患者の薬物療法に携わる薬剤師の社会的役割と責任への理解を深めます。医療に従事する多職種の立場と考えを尊重し、連携の重要性を理解します。

医療機関に勤務する薬剤師の活動・使命は、患者のみならず生活者に及んでいることを踏まえ、医薬品を扱う将来の薬剤師として、薬の物質としての理解のみならず、患者の生命・生活への理解を深めるとともに技能を習得します。

病院・薬局薬学（6 年次）

これまで培った知識・技能・態度の更なるレベルアップを目指し、 臨床面、研究面で活躍できる薬剤師へ

5 年次で履修した病院・薬局実習を踏まえて実施します。病院や薬局の専門的な機能やその仕組み、それらにおける薬剤師の実践的な役割に関する高度な知識を習得します。

内容としては、病棟業務、チーム医療、臨床研究と治験、病院と薬局の連携、地域医療、在宅医療、海外における薬剤師の活動等を学びます。

病院・薬局で現在実践されている、あるいはこれから導入しようとしている最先端の取り組みを学ぶことにより、これからの薬剤師像を思い描き、学生の将来に向けての道標を立てるような科目にします。

研究室

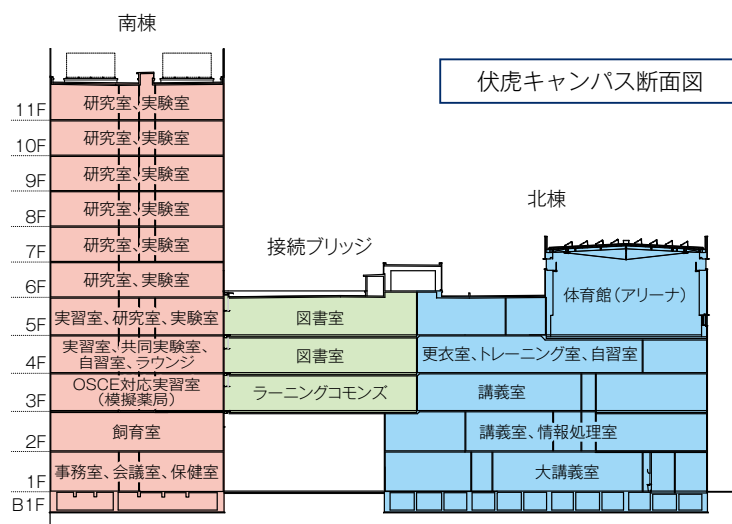
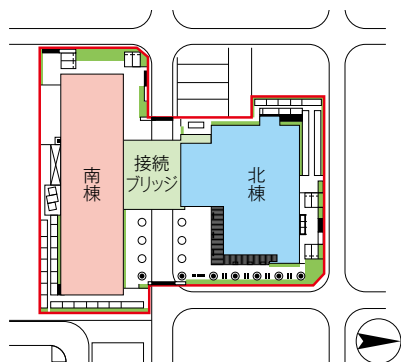
学生は全員、3年次後期から研究室に配属されます。研究室では、最新の薬学知識や専門英語、研究技術を学ぶとともに自己の研究に励み、他学生との研鑽や教員による熱心な指導を通じて、薬学研究者の心構えや問題発見能力及び問題解決能力を習得します。また、研究者への一歩となるべく、研究倫理に従い科学的根拠に基づいた国際水準の卒業論文を作成します。

物理・化学薬学部門	生命薬学部門	医療薬学部門	臨床・社会薬学部門	医療教育企画室
物質の化学的、物理的性質や構造を知り、創薬につなげる領域	生命現象を解明することを基点に創薬や臨床へつなげる領域	生体内での医薬品の働きを理解する領域	患者の疾患に対し適正かつ安全な薬物治療の在り方を追究する領域	学生が実践的な能力を習得できる教育手法の開発を行う領域
薬品物理化学 薬品化学 生薬・天然物化学	病態解析学 生物化学 分子生物薬学 生体機能解析学 衛生薬学	病態生理学 薬品作用学 薬物治療学 薬剤学	病院薬学 社会・薬局薬学 医療薬剤学 医療情報薬学 医療開発薬学	医療教育企画室

教育研究環境

薬学部キャンパス（伏虎キャンパス）

伏虎キャンパス平面図



主な研究機器

- ・ NMR（核磁気共鳴装置）
- ・ TOF/MS（飛行時間型質量分析装置）
- ・ フローサイトメーター
- ・ 共焦点レーザー顕微鏡
- ・ LC/MS/MS（液体クロマトグラフタンデム質量分析装置）
- ・ 蛍光顕微鏡
- ・ リアルタイム PCR

和歌山城を眺めることができる南棟は11階建てで、実験室や研究室、模擬薬局があります。北棟は5階建てで講義室や体育館（アリーナ）があります。北棟と南棟を繋ぐガラス張りの接続ブリッジには図書室、ラーニングcommonsを備えています。

様々な勉強スタイルに応じた自習室だけでなく、憩いの場としてラウンジやリラクスペースも充実させ、学生生活に最適な教育環境を整えています。

キャンパス外の施設として和歌山県植物公園緑花センター（岩出市）内に薬草園を設置しています。ここでは、生薬に関する実習や研究を行います。

卒業後の進路

薬剤師として、医療現場に就職する道はもちろんですが、企業や行政、研究・教育機関等、活躍する場所は他にも多岐にわたります。

また、より高度な研究能力を修得するため、大学院へ進学する道も開かれます。

病院・保険薬局 ドラッグストア	薬剤師からのメッセージ 私たち病院薬剤師はひとりひとりの患者さんに適切で安全な医療を提供できるように、様々な職種の医療スタッフと連携しながら、より良い薬物治療の推進に努めています。調剤、製剤、抗がん剤の投与計画や副作用の管理、医薬品情報管理、薬剤指導、治験管理など、業務の幅はどんどん広がっており、各病棟や感染制御（ICT）、緩和ケア、褥瘡対策や栄養サポート（NST）、災害派遣医療（DMAT）などに配置された薬剤師が、医療チームの中で職能を発揮し、様々な分野で患者さんの治療に深く関わっています。 附属病院薬剤部では部内研修や学術発表、薬学実務実習生の受入れなど優れた専門知識と技術を持った医療人の育成にも力を入れており、専門や認定資格を持った薬剤師が多数在籍しています。 病院薬剤師は薬を通じて医療に貢献したいと考えている皆さんにとって、大変魅力ある職業だと思います。 和歌山県立医科大学附属病院薬剤部 秋月麻友子
企業	製薬会社、医療機器会社、医薬品卸会社、化学会社、食品会社、化粧品会社 SMO（治験施設支援機関）、CRO（開発業務受託機関）
行政・独立行政法人	国家公務員（厚生労働省、特許庁等） 地方公務員（都道府県庁、政令指定都市、保健所等） 警察（科学捜査研究所）、医薬品医療機器総合機構（PMDA）
教育・研究機関	大学、官公庁研究機関、民間研究機関



【薬学部を卒業すれば取得可能な資格】

薬剤師国家試験受験資格

毒物劇物取扱責任者
食品衛生管理者

【薬剤師であれば申請等で取得可能な資格・業務】

第一種衛生管理者
麻薬管理者
向精神薬取扱責任者
医薬品製造業の製造管理者
学校薬剤師

【薬剤師免許を有し、公務員試験に合格すれば取得可能な資格・業務】

麻薬取締官（国家公務員）・麻薬取締員（地方公務員）
薬事監視員
食品衛生監視員
環境衛生指導員（地方公務員）

【薬剤師であれば取得に特別な考慮（受験資格の付与、試験科目の免除等）が払われる資格・業務】

作業環境測定士
介護支援専門員（ケアマネジャー）
労働衛生コンサルタント

※資格の詳細については、各団体・機関のホームページ等でご確認ください。

和医大生のキャンパスライフ

4年生

青峰 慧

1day Schedule

- 7:30 起床
- 8:50 授業
- 12:40 昼休憩
- 13:40 専門実習
- 17:00 部活
- 20:00 夜ごはん
- 24:00 就寝

・印象に残っている授業

1年後期から2年前期にかけて行った「生命科学」という授業が印象に残っています。4期生からは「生化学」と「分子生物学」の2つに名前が変わりましたが、この授業では細胞で行われる反応や細胞小器官の働き、タンパク質の性質などを学ぶことができます。高校生物の発展の内容が多く、高校の授業では覚えるだけだった現象を原理や構造から学ぶことができました。生命反応の働きを深く理解することができ、とても興味深かったです。また、2年から始まった薬学部らしさのある授業も印象に残っています。1年時は生物や物理、化学について学ぶ授業が多いですが、2年からは生薬についての授業や薬の作用機序を学ぶ授業など、薬について学ぶ授業が多く入ってきます。自分が知っている薬や服用している薬の原理を知ることができた時はとても面白いです。薬が身体の中でどのように作用するのかについて詳しく学びたい人はぜひ薬学部を目指してみてください。

・志望動機

僕は小さい頃からアレルギー体質でよく病院に通っていました。お医者さんと看護師さんに優しく接して頂いた経験から、将来は医療に携わる仕事に就きたいと考えるようになりました。また、高校の頃は生物や化学が得意であったため、これらの分野を深く学ぶことができる薬学部を目指すようになりました。僕は滋賀県出身なのですが、地元と同じ関西圏であることや、大学ができたばかりのため綺麗で充実した設備があることから、和医大の薬学部を志望することに決めました。

・和医大薬学部の魅力

和医大薬学部では1年次からグループワークの授業が多いため友達が作りやすいです。1学年の人数が他大学に比べて少なく、ほとんどが学年全員で受ける授業のため、仲のいい人と共に授業を受けることができます。このように横のつながりができやすい所が魅力だと思います。また、人数が少ないため先生方との距離が近く、授業でわからないことがあると気軽にメールで質問したり直接伺ったりできる所も魅力だと思います。



5年生

昼馬 悠名

1day Schedule

- 7:30 起床
- 8:50 授業
- 12:40 昼休憩
- 13:40 研究室
- 17:30 部活
- 21:00 帰宅
- 22:30 自由時間
- 23:30 就寝

・和医大薬学部の魅力

和医大薬学部は新設の学部であり、校舎がとても綺麗です。ラーニングcommonsや図書館の自習スペースなど、学習環境が充実しているだけでなく、ラウンジなどの休憩スペースも整っています。また、大学はJR和歌山駅と南海電鉄和歌山市駅の両方からアクセスが良く、徒歩圏内にはおしゃれな飲食店も多くあり、快適に大学生活を送ることができます。さらに、講義を担当される先生方は皆さん優しく熱心で、質問にも丁寧に対応してもらえるため、楽しく学ぶことができます。

・課外活動について

私は、1回生の時に和医大手芸サークル「chouchou」を立ち上げました。最初は5人ほどの小さなサークルでしたが、自由参加でゆるやかな雰囲気のもと、現在では約40名が在籍するサークルになりました。主な活動内容は、毎年開催される「紀葉祭」への出店や、外部講師を招いた制作会などがあります。サークルの立ち上げ時には様々な苦労もありましたが、活動を通じて出会えた同期や後輩のサポートのおかげで、楽しく交流しながら活動しています。

・1人暮らしについて

私は、2年生までは自宅から通学していましたが、3年生になると同時に和歌山で一人暮らしを始めました。一人暮らしのメリットとして、通学時間を削減できることが大きいと思っています。浮いた時間を部活動やアルバイト等に充て、より充実した学生生活を送れるようになりました。また、同じく一人暮らしをしている友人を自宅に招いて一緒に勉強したり、食事会を開いたりするのも魅力の一つです。実家暮らしではなかなかできない貴重な経験ができる点も、一人暮らしならではの楽しさだと感じています。

・研究室について どんな研究をしているのか、活動や雰囲気について

私が所属する社会・薬局薬学研究室では社会の健康向上に対して薬剤師がどのように貢献できるかをテーマに、研究と活動を行っています。研究室では、教授と面談をして研究計画を立て、毎週1回のゼミで進捗状況を報告しながら各学生自身が計画を立てて研究を進めています。また、自身の研究テーマに取り組むだけでなく、薬剤師会が主催するヘルスプロモーションに参加することもあり、楽しく活動しています。



3年生

原野 紗耶加

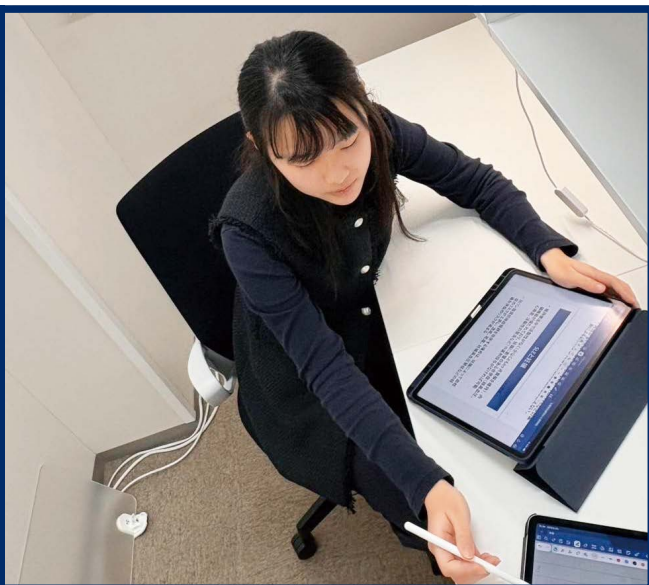


・課外活動について

大学は中学・高校に比べて部活動の種類が多く、仲間と和気あいあいとしめる部活から、大会や目標に向けて切磋琢磨しながら活動する部活まで、その幅はとても広いです。主に紀三井寺キャンパスを拠点として活動する部活が多い一方、伏虎キャンパスで活動している部活もあります。学業やアルバイト、趣味と両立しながら、自分のペースで参加できる点も大学の部活動ならではの魅力です。学部や学年を越えた交流を通して新たな仲間と出会い、より充実した大学生活を送ることができますよ！

4年生

亀田 由梨奈



・キャンパスについて

伏虎キャンパスは、2つの大きな駅（南海和歌山市駅と JR 和歌山駅）からのアクセスが良好です。そのため、遠方に住む私を含め、他県からでも無理なく通学ができます。

キャンパス周辺の治安が良く、市役所や飲食店が近くに多くあるので、付近で昼食や息抜きを楽しむ学生も多いです。また、キャンパス内の施設は、講義室や実験室はもちろんのこと、実験器具も最新で非常に綺麗であり、自習室や体育館等も充実しています。

私は特に、ガラス張りで開放的な「ラーニングコモンズ」という学習室をよく利用しています。友人と意見交換しながらレポート作成や実験の考察をすることで、充実した時間を過ごすことが魅力的だと思います。

6年生

宮脇 知徳



・学部案内（研究室）

研究室ではゼブラフィッシュチームとマウスチームに分かれ、僕はマウスの脳内ではたらく遺伝子について研究を行っています。僕たちは一期生なので先輩はいませんが、今は後輩ができ、同じテーマについて研究に取り組んでいます。研究室内での研究の進捗発表がありますが、外部で学会に参加することもあります。今回は研究室の1例を紹介しましたが研究室ごとに研究内容やスタイルは様々です。入学したら、研究室に入るまでの間、教授や先輩からいろんな話を聞いたり興味を持ったりして、どんな研究を行いたいか思いを巡らせてみてください。そして良い研究室ライフを送ってほしいと思います。

課外活動

大学では現在 27 の体育会と 21 の文化会が活動しています。

課外活動は、3 学部合同で活動しており、大学全体での交流の場となっています。

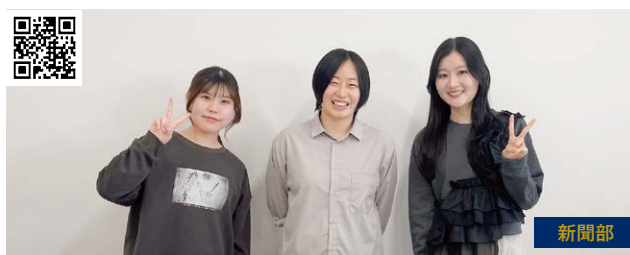
体育会

- | | | | | | |
|------------|------------|-----------------|----------|----------|---------|
| ★硬式テニスサークル | ★軟式野球部 | ★パラエティースポーツサークル | ●卓球部 | ●ソフトテニス部 | ●ゴルフ部 |
| ●バレーボール部 | ●フットサル部 | ●空手道部 | ●ヨット部 | ●準硬式野球部 | ●ラグビー部 |
| ●剣道部 | ●スキー・山岳部 | ●合気道部 | ●柔道部 | ●陸上競技部 | ●ボート部 |
| ●水泳部 | ●バスケットボール部 | ●ダンスサークル | ●バドミントン部 | ●サッカー部 | ●硬式テニス部 |
| ●女子バレーボール部 | ●フィットネス部 | ●ソフトテニスサークル | | | |

文化会

- | | | | | | |
|----------------|------------------|---------------|--------|----------------|------------------|
| ★クイズ研究会 | ★手芸サークル | ★薬学ボランティアサークル | ★新聞部 | ★お笑いサークル | ●軽音楽部 |
| ●美術部 | ●裏千家茶道部 | ●音楽研究部 | ●ESS 部 | ●保健看護茶道部 | ●Wakayama Will 部 |
| ●アカペラ部 | ●演劇部 | ●華道部 | ●釣魚部 | ●米国医学研究会×USMLE | ●手話サークル |
| ●わくわく子育てボランティア | ●ミュージックボランティアクラブ | ●K-PICS | | | |

★は薬学部発足の課外活動



年間スケジュール

前期	4	上旬	春期休業／入学式／新入生ガイダンス	 和歌山県立医科大学 令和8年度入学式 入学式
		中旬	学生健康診断	
		下旬		
	5	上旬		
		中旬	薬草園実習（2年生）	
		下旬		
	6	上旬	研究室配属（3年生）	
		中旬		
		下旬		
	7	上旬		
		中旬		
		下旬		
	8	上旬		
		中旬		
		下旬	夏期休業（8月下旬～9月下旬）	
後期	9	上旬		 研究室配属
		中旬		
		下旬		
	10	上旬		
		中旬	オープンキャンパス	
		下旬		
	11	上旬		
		中旬		
		下旬		
	12	上旬	OSCE（4年生）	
		中旬	学校推薦型選抜願書受付	
		下旬	冬期休業（12月下旬～1月上旬）／CBT（4年生）	
	1	上旬		
		中旬	大学入試共通テスト	
		下旬	一般選抜（前期日程）願書受付	
	2	上旬	学校推薦型選抜試験及び一般選抜（前期日程）第一段選抜合格発表	
		中旬	開学記念日／薬剤師国家試験（6年生）	
		下旬	一般選抜（前期日程）試験	
	3	上旬	一般選抜（前期日程）合格発表	
		中旬	学年末休業（3月中旬～下旬）	
		下旬	卒業式	

入学試験概要

出願資格・入試日程・入試科目・出願方法等について、学生募集要項を必ずご確認ください。

選抜者区分		学校推薦型選抜		一般選抜（前期日程）	
募集人員		県内枠 15 名程度、全国枠 15 名程度 （注）県内枠で合格者とならなかった場合、全国枠として選抜の対象とします。		70 名 〔学校推薦型選抜入学者の数によって増減〕	
主な出願資格		- 高等学校を入学試験実施年度の前年度の 3 月に卒業した者及び高等学校を入学試験実施年度の 3 月卒業見込みの者 - 調査書の全体の評定平均値 4.0 以上の者 （注）推薦人員は高等学校 1 校につき 5 名以内（県内枠 3 名以内、全国枠 2 名以内）		高等学校を卒業した者及び高等学校を入学試験実施年度の 3 月卒業見込みの者	
選抜方法	第一段階選抜 （大学入学共通テスト）	国語	『国語』	国語	『国語』
		地理歴史・公民	『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から 1 科目選択	地理歴史・公民	『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から 1 科目選択
		数学	『数学Ⅰ、数学 A』『数学Ⅱ、数学 B、数学 C』	数学	『数学Ⅰ、数学 A』『数学Ⅱ、数学 B、数学 C』
		理科	『物理』『化学』『生物』から 2 科目選択	理科	『物理』『化学』『生物』から 2 科目選択
		外国語	『英語』（リスニングテストを含む）	外国語	『英語』（リスニングテストを含む）
		情報	『情報Ⅰ』	情報	『情報Ⅰ』
		一定以上の学力水準を満たした者を選抜するため、大学入学共通テストの成績により、第一段階選抜を行います。		志願者が募集人員（70 名）の約 3.3 倍を超えた場合は、大学入学共通テストの成績により、第一段階選抜を行います。	
	第二段階選抜 （個別学力検査等）	「大学入学共通テスト」 「個人面接」 「学校長による推薦書」 「調査書」 「自己推薦書」		英語	「英語コミュニケーションⅠ」 「英語コミュニケーションⅡ」 「英語コミュニケーションⅢ」 「論理・表現Ⅰ」 「論理・表現Ⅱ」 「論理・表現Ⅲ」
				数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」 「数学 A」「数学 B（数列）」 「数学 C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）」
				理科	「化学基礎・化学」必須 「物理基礎・物理」「生物基礎・生物」から 1 科目選択
				「大学入学共通テスト」「個人面接」「調査書」 「自己推薦書」	

※学校推薦型選抜は、第一段階選抜合格者の中から、大学入学共通テストの成績、学校長による推薦書、調査書、受験生が記述した自己推薦書及び個人面接により、総合的に評価し合格者を決定します。

※一般選抜は大学入学共通テストの成績、個別学力検査の成績、個人面接の結果、調査書の内容及び自己推薦書を総合的に評価して合格者を決定します。従って大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総計が合格者最低得点を上回っていても不合格となる場合があります。

入学試験 (学校推薦型選抜) 県内枠について

和歌山県の地域医療に貢献するため
県内で活躍する先導的薬剤師を養成します

目的

和歌山県では、全国平均に比べて薬剤師の高齢化が進んでいます。地域によっては薬剤師不足が生じており、地域医療の担い手となる薬剤師の養成が急務となっています。

本学では、**本学部が提示するプログラムに基づいて2年間の研修を地域の医療機関で横断的に**行うことにより、国際的に通用する高度な薬学の専門知識を有し、かつ患者・生活者の立場に立って和歌山県内の医療に貢献することができる先導的な薬剤師を養成します。

募集人員

15名程度（学校推薦型選抜で募集）

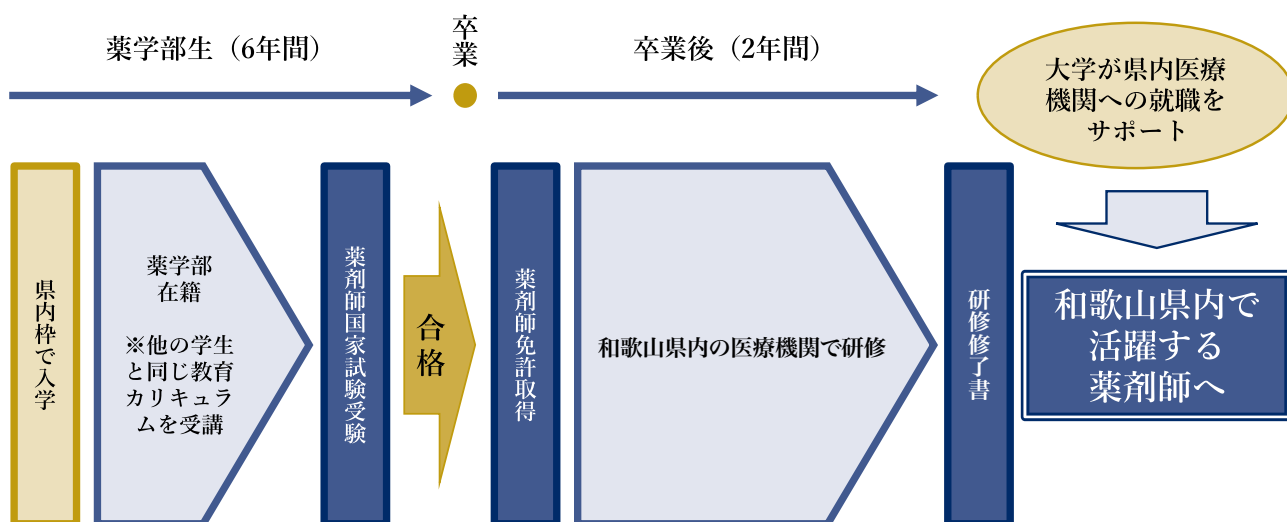
条件として、県内枠の出願時、卒業後2年間、和歌山県内の医療機関で研修を受講することに同意する旨の**誓約書**を提出していただきます。

対象者

- ◆和歌山県内の高等学校を入学試験実施年度の前年度の3月に卒業した者及び入学試験実施年度の3月卒業見込みの者。または、和歌山県外の高等学校を入学試験実施年度の前年度の3月に卒業した者及び入学試験実施年度の3月卒業見込みの者であって、出願時、当該卒業した者及び卒業見込みの者の扶養義務者（現に本人を扶養している者）が引き続き3年以上和歌山県内に居住している者
- ◆調査書の全体の評定平均値4.0以上の者
- ◆薬学部卒業後、県内の医療機関で2年間研修し、薬剤師として地域医療に貢献したいという強い意欲を有する者
- ◆高等学校1校における推薦人員は3名以内

※詳細は学生募集要項で必ず確認してください。

キャリア形成プログラム



※プログラムについては今後変更になる可能性があります。

学費・奨学金等

【入学金・授業料】

種別	入学金	授業料
金額	県内生 282,000 円 県外生 564,000 円	年額 535,800 円

(注1) 県内生とは、「入学日現在における入学を許可された者の扶養義務者（現に本人を扶養している者）が、入学日以前3年間引き続き和歌山県内に居住している者」をいいます。

(注2) 県外生とは、上記（注1）県内生に該当しない者をいいます。

【高等教育の修学支援新制度】

世帯収入や資産、学修意欲等の要件を満たす学生に対して授業料等の減免と給付型奨学金を支給します。

収入基準 （住民税非課税世帯及び それに準ずる世帯） に基づく区分	入学金減免額	授業料減免額 （年額）	日本学生支援機構による給付型奨学金 （月額）	
			自宅通学者	自宅外通学者
第Ⅰ区分	282,000 円	535,800 円	29,200 円（33,300 円）	66,700 円
第Ⅱ区分	188,000 円	357,200 円	19,500 円（22,200 円）	44,500 円
第Ⅲ区分	94,000 円	178,600 円	9,800 円（11,100 円）	22,300 円
第Ⅳ区分（多子世帯）	282,000 円	535,800 円	7,300 円（8,400 円）	16,700 円
多子世帯 （授業料等無償化対象）	282,000 円	535,800 円	収入基準に基づき該当する 第Ⅰ～Ⅳ区分が支給	

※（ ）内は、生活保護世帯で自宅から通学する学生及び児童養護施設等から通学する学生への支援金額です。

※詳細は日本学生支援機構ホームページで確認または大学窓口で相談してください。

【貸与型奨学金制度】

学業・人物とも健康かつ優良で、経済的理由により修学が困難である学生に対して日本学生支援機構による貸与型奨学金制度があります。

種類	区分	貸与額（月額）
第一種 奨学金（無利息）	自宅通学者	20,000 円、30,000 円、45,000 円のいずれか
	自宅外通学者	20,000 円、30,000 円、40,000 円、51,000 円のいずれか
第二種 奨学金（利息付）		20,000 円から 10,000 円単位で上限 120,000 円までの金額

※詳細は日本学生支援機構ホームページで確認または大学窓口で相談してください。

【学生のための保険制度】

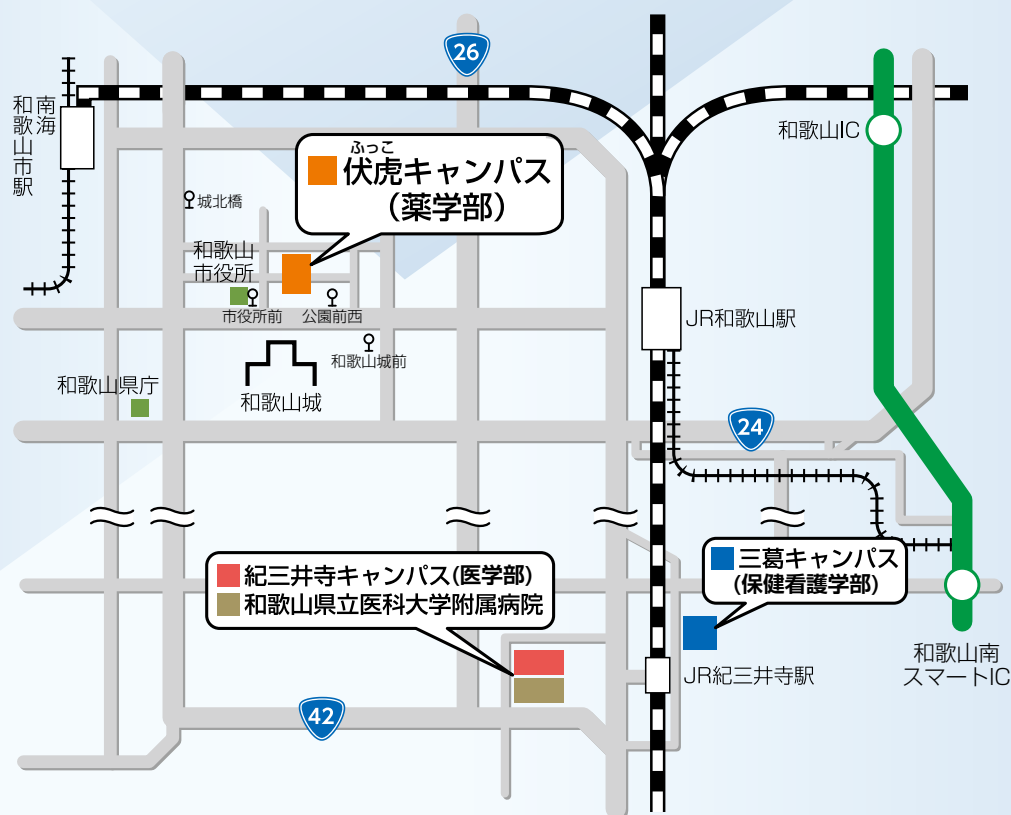
学生生活を安心して過ごせるよう、学生生活全般における災害傷害保険及び薬学教育実務実習等における賠償責任保険に入学時全員加入していただきます。

種類	保険料	保険期間
学生教育研究災害傷害保険	4,800 円	6 年間
学生教育研究賠償責任保険	2,040 円	

※「傷害保険」は、正課、学校行事、学内での課外活動中及び通学中等に傷害を受けた場合に対象となります。

※「賠償責任保険」は、正課、学校行事及びその往復中で他人にケガを負わせたり、他人の財物を損壊させたことにより被る法律上の損害賠償について補償されます。

Access Map



伏虎キャンパス（薬学部）へのアクセス

- JR・和歌山電鐵和歌山駅から和歌山バス約5分「和歌山城前」下車、徒歩約2分
- 南海電鐵和歌山市駅から和歌山バス約3分「公園前西」下車、徒歩約1分
- 南海電鐵和歌山市駅から徒歩約15分

問い合わせ先



公立大学法人 和歌山県立医科大学薬学部事務室
〒640-8156 和歌山県和歌山市七番丁25番1
TEL.073-488-1843 FAX.073-488-1946
E-mail yakugaku@wakayama-med.ac.jp



ホームページ
<https://www.wakayama-med.ac.jp/>

